



# 楠公の里瓦版

第55号 平成28年 9月 3日

金剛山千早赤阪倶楽部

E-Mail: kongomt.chihaya.akasaka.club@gmail.com  
HP: http://www.kongozan-chihayaakasaka-club.com  
(連絡先) 西野敏彦 090-6326-0497  
辰巳 晃 090-3973-2931  
奥田佳三 090-5040-1923  
山本正史 090-2115-4627  
(編集) 細井戸伯博 080-3114-5520

## ＜ 倶楽部員募集 ＞

金剛山千早赤阪倶楽部では、倶楽部員を募集しています。  
登山・登山道の整備・そば栽培・畑の手入れ等々に興味のある  
かたならどなたでも参加いただけます。  
**入会金・会費は全く不要です。**  
入会をご希望の方は、各月の活動日に直接、集合場所にお越し  
ください。  
お問合せ等は、右の連絡先又はメールでお願いします。

## そばの種蒔き & 史跡探索 (楠妣庵観音寺)



種蒔き



そばの種蒔きを終えて「はいチーズ！」



お久しぶりです！



楠母子の像

後列：池田、武部（耕、武部（広、鳥井  
中列：西野、山本（知、細井戸（美、大林、吉川、高見、新田（徹、藤原  
前列：山本（庄、梅川、福留、山本（正、奥田



像の前で説明を聞く

### ＜そばの種蒔き&楠妣庵観音寺散策＞

今回の行事は、そばの種蒔きを1時間ほど行い、その後、甘南備（富田林市）にある楠木正成公の奥方であった久子（ひさこ）夫人の菩提寺、楠妣庵観音寺迄のウォーキングを行いました。当日は、台風の影響もあり、曇り空で快晴という程ではありませんでしたが、日差しも余

りなく、夏場の時期としては、ほど良くウォーキングを行うことができました。ただ、目的地のお寺までの道のりは、山道ではなく、舗装された公道を歩くことになり、それでも、公道の傍らには種々の草花が映え、いつもながらの山行を楽しむことができました。

⇒ 次頁へ続く

日 報 8月28日（日）晴れ時々曇り

参加者 18名

参加者 山本庄一郎、山本知加子、武部耕司、武部広美、西野敏彦、山本正史、奥田佳三、細井戸伯博、細井戸美紀子、大林眞澄、新田徹雄、藤原みどり、鳥井三枝子、池田文俊、吉川朋子、福留敏郎、梅川忠弘、高見義一

作業行程 ① そばの種蒔き  
② 史跡探索 (楠妣庵観音寺)

朝から、参加者全員でそばの種蒔きを行い、終了後、二河原邊小屋から楠妣庵観音寺まで史跡探索ハイキングを行いました。楠妣庵では、メンバーで檀家の池田さんから説明を受けました。

## ⇒ 前頁から

当日は、二河原邊の集会所を10時過ぎに出発し、約30分程で千早赤坂村のスポーツセンターに到着、ここで小休憩を行いました。その後、老人ホームの傍らを過ぎて、20~30分程で、お寺の山門前に到着しました。お寺の境内へは、山門前の長い階段を登ることになります。階段の登り口横には、久子夫人と正成公の嫡男にあたる正行（まさつら）公との楠母子像があります。なおこの像は、戦前に建立（昭和10年）されたもので、神戸湊川の戦い（楠木正成側と足利尊氏側との戦い）で正成公が亡くなり、敵方の足利尊氏側から送り届けられた正成公の首級を見て、息子正行公が自刃しようとしたところ、母親の久子夫人がそれを制止し、咎めた場面の様子だそうです。

なお、久子夫人は、この正行を筆頭に六人の子供たちをこの千早赤坂の地に引き取り、正成公亡き後、子供たちを直接養育していくことになりました。時は後醍醐天皇がまだ存命中で、建武の新政後の南北朝時代で、足利幕府成立前の混沌とした時代で、大変なご苦労をされたことだと思います。しかし、正成公が亡くなり十数年後には正行、次弟の正時（まさとき）が四条畷の戦いで、父の弔いを果たすことができず、またもや足利尊氏側に敗れ果ててしまうことになりました。そして久子夫人はここ楠岨庵観音寺の地に隠棲し、楠木正成公を筆頭に楠木一族を弔うべく供養塔を建て、すぐそばに草庵を建て住まわれました。今でもその供養塔と草庵（大正期に建築家の伊藤忠太博士による復元）は境内の本堂の前にある小高い丘にあり、当日参加メンバーの皆様方には案内させていただきました。また前住職（昨年お亡くなりになり現在はご子息が住職）の奥様からは、本堂の中を案内していただきましたが、とくに印象的な説明は、お寺の家紋である菊水紋の川の流れの向きが、通常の菊水紋の逆になっているとのことで、正

成公の奥方との立場を踏まえそのようになされたとのことでした。

昼食は境内にある楠岨会館（平成2年建立）で摂ることができ、快適に休息することができました。その他、供養塔の横にある、昭和天皇及び弟君の秩父宮殿下の植樹された楠の大木、また境内から少し離れた処にある久子夫人常用の井戸を見学しました。帰りは、幸い途中参加の奥田さんが車で来ていただいていたので、二河原邊の集会所迄、車でのピストンができ、参加メンバー全員、楽に帰ることができました。なお今回の楠岨庵観音寺訪問にあたり、西野会長、および山本正史さんは当寺の前々代住職が赤坂中学で代用教員をしておられた時の教え子だそうです。

最後に、前住職の奥様には当日、本堂にてお寺のお話をしていただきましたこと、この紙面を借りてお礼を申し上げます。以上簡単ですが、当日の山行報告と致します

記：池田文俊



<写真は池田さんから提供いただきました>

### <富田林 ⇄ 森屋 バス時刻>

・富田林→森屋 8:20（水越峠行き） 8:35（千早ロープウェイ前行き）

### <次回のご案内>

9月 25日（日） \* 昼食・お茶は各自ご用意下さい。 \*

集合場所 二河原邊集会所

時間 9時集合（\*電車でお来られる方は、富田林駅から金剛バスで「森屋」まで来て下さい。\*）

<森屋バス停まで送迎できます。>

### <行事予定>

1. 金剛山登山（1000m登山）
2. 史跡探索ウォーク

### <<次々回のご案内>>

- ・10月15日（土） 建水分神社秋祭り 宮入・二河原邊地区のだんじり曳きや見学
- ・ 16日（日） だんじり曳き・曳行

\*\*\* 両日も 昼食・夕食用意します。 \*\*\*